

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320247	X-21-B-1-320247	1	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	2年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
韓国語 2bA	川上 洋子			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	2年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

授業目的

韓国・朝鮮は日本に最も近い国である。言語も日本語とよく似た構造をもっており、日本人にはもっとも習得しやすい外国語といえる。この授業では、慶熙大学のテキストを用いた2コマの授業を補強するために、日本で出版されたテキストを用いて、文法を中心に、日本語を母語とする者の特性を生かした言語学習を目指す。

各回毎の授業内容

第1回 【授】ガイダンス／前学期の復習 【前・後】予習・復習各1時間 第2回 【授】第6課（その1） 【前・後】主格助詞／人称代名詞／所有代名詞など（予習・復習各1時間） 第3回 【授】第6課（その2） 【前・後】-와/과 / -하고 / -(O)랑 / -(O)나 （予習・復習各1時間） 第4回 【授】第6課（その3） 【前・後】存在詞（予習・復習各1時間） 第5回 【授】第7課【その1】 【前・後】助詞、계시다, 있다の否定表現（予習・復習各1時間） 第6回 【授】第7課（その2） 【前・後】位置名詞、尊敬の補助語幹 -시- / -으시-（予習・復習各1時間） 第7回 【授】第7課（その3） 【前・後】助詞、n音添加（予習・復習各1時間） 第8回 【授】前半のまとめ 【前・後】予習・復習各1時間	第9回 【授】第8課（その1） 【前・後】助詞、敬語（予習・復習各1時間） 第10回 【授】第8課（その2） 【前・後】陽母音と陰母音（予習・復習各1時間） 第11回 【授】第8課（その3） 【前・後】用言活用3つのパターン（予習・復習各1時間） 第12回 【授】第9課（その1） 【前・後】補助用言、略待形、略待上称形（予習・復習各1時間） 第13回 【授】第9課（その2） 【前・後】過去を表す補助語幹（予習・復習各1時間） 第14回 【授】第9課（その3） 【前・後】終結語尾-세요/-으세요（予習・復習各1時間） 第15回 【授】まとめ（確認テスト） 【前・後】予習・復習各1時間 第16回 【授】予備日 【前・後】（予習・復習各1時間）
---	--

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							80
小テスト・授業内レポート							10
宿題・授業外レポート							10
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

出席が2/3以上の者に確認テストの受験資格を与える。成績は確認テスト、その他の授業中の小テスト、宿題、授業態度などにより評価する。宿題及び小テストは採点后、授業中に返却し、解説する。

教科書参考書

熊谷明泰『アリラン 改訂版』朝日出版社、2015年、2400円＋税。

受講に当たっての留意事項

韓国語1の学習を踏まえ、初級文法を学ぶので、学習項目を着実に習得してほしい。

学習到達目標

言葉に親しみつつ、話す、聞く、書く、読むという基礎的な言語能力の習得を目標とする。そして、習得した言語をもって、みずからのコミュニケーションに活用することを意識しながら学んでほしい。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習